

研究部だより

【数学I分科会】

日 時 平成29年11月6日(月)
場 所 東京都立日比谷高等学校
内 容 (1)研究・授業実践例等の研究協議
(2)他研究会や個人での研究・実践例等の報告

日 時 平成29年12月22日(金)
場 所 東京都立多摩科学技術高等学校
内 容 (1)研究・授業実践例等の研究協議
(2)他研究会や個人での研究・実践例等の報告

【学習指導法分科会】

学習指導法分科会は「高校生に興味・関心を抱かせる数学の教材集づくり」というテーマで月1回、おもに土曜日の午後日比谷高校にて15名程度が集まり、研究協議を行っています。

その成果を日数教全国大会や関東甲信静ブロック大会で研究発表したり、教材集の冊子を作ったりしています。例えば11/25の学習指導法分科会で発表された項目は次の通りです。

- ①1乗和と2乗和の最小値について
- ②2乗和の最小値についての考察 ③数学の勉強法
- ④データの分析の指導 ⑤2次不等式の解き方を考えよう
- ⑥中高生の読解力がピンチ ⑦式の値の求め方
- ⑧合同式の周辺 ⑨大学入試新テストについて

今回は2/3です。メンバーは都立高の現職教員だけでなく、若手(大学生)から大ベテラン(70代)まで、中学大学の先生、私立国立の先生もいます。皆様のご参加をお待ち致します。

【コンピュータ分科会】

日 時 平成29年10月7日(土) 14:00~17:00
場 所 東京都立保谷高等学校
内 容 (1)研究協議

- ①生徒が主体的に考えた空間ベクトルの問題の解法
- ②思考力・表現力・判断力を育てる教材
- ③「2次関数のグラフ」における授業実践報告
- ④研究授業に向けての研究協議
- ⑤生徒の興味・関心を引き出す教材開発

日 時 平成29年11月18日(土) 14:00~17:00
場 所 東京都立保谷高等学校
内 容 (1)研究協議

- ①グラフ電卓と距離センサーを使った関数の授業について
- ②東京教師道場—2年間を振り返って—
- ③「2次不等式の解法」における授業実践報告
- ④ベクトル分解と斜交座標
- ⑤2次不等式の解法における指導方法 他

日 時 平成29年12月16日(土) 14:00~17:00
場 所 東京都立保谷高等学校
内 容 (1)研究協議

- ①「ちょっとの工夫」接線の本数と定数分離の問題から
- ②ICTで活用できるサイト
- ③大学進学を踏まえた数学教育の現状と今後の課題
- ④ICTを活用した2次関数のグラフと決定条件の指導
- ⑤2次不等式のプリント ⑥式の値の求め方について

⑦ Classiについて

【大学入試分科会】

日 時 平成29年9月29日(金) 16:00~18:30
場 所 東京都立小石川中等教育学校
内 容 (1)大学入試問題研究

- ①工学院大学 ②茨城大学 ③中央大学 ④埼玉大学
- ⑤慶應義塾大学 ⑥千葉大学 ⑦群馬大学 ⑧横浜市立大学

日 時 平成29年10月20日(金) 16:00~18:30
場 所 東京都立小石川中等教育学校
内 容 (1)大学入試問題研究

- ①宇都宮大学 ②立教大学 ③東京農工大学
- ④東京工業大学 ⑤お茶の水女子大学
- (2)研究授業の指導案の検討

日 時 平成29年11月10日(金) 16:00~18:30
場 所 東京都立小石川中等教育学校
内 容 (1)大学入試問題研究

- ①専修大学 ②信州大学 ③東京医科歯科大学 ④東北大学
- (2)研究授業の指導案の検討

日 時 平成29年12月8日(金) 16:00~18:30
場 所 東京都立小石川中等教育学校
内 容 (1)大学入試問題研究

- ①山梨大学 ②信州大学 ③東北大学 ④電気通信大学
- ⑤青山学院大学 ⑥神奈川大学 ⑦防衛大学校
- ⑧東京学芸大学
- (2)研究集録の原稿準備

日 時 平成30年1月12日(金) 16:00~18:30
場 所 東京都立小石川中等教育学校
内 容 (1)研究集録の原稿作成および編集

【定通分科会】

日 時 平成29年10月3日(火)
場 所 東京都立中野工業高校
内 容 (1)研究授業実施

授業内容 数学I 三角比 三角形の面積
授業者 相田知輝(都中野工)

(2)研究協議

都数研第89回授業研究協議会 兼

平成29年度研修案内(都教職員研修センター)

研修番号 4224「高等学校数学に関する授業研究」

日 時 平成29年11月16日(木)

場 所 東京都立南多摩中等教育学校

内 容 (1)「高等学校数学に関する授業研究」研修会
(2)10月3日(火)の授業実践報告

日 時 平成29年12月28日(木) 18:00~20:00

場 所 東京都立一橋高等学校

内 容 (1)今年度実施した研究授業実践に関する研究協議
(2)次年度実施する研究授業の内容・計画

文責 編集部 武井 政博(都大泉桜高)